

みんなできくろく 安全な暮らし

火災を防ぐチェックポイント

あなたの家は大丈夫？
住宅防火「こころ」がポイント

「つい」「うっかり」に
気をつけて

一年に発生する火災は、全国で6万件。その原因のほとんどは、「ついほかのことに気をとられて」「うっかり忘れてしまつて」といった失火によるものです。

そうした火災を未然に防止するためには、一人ひとりが防火の重要性を自覚し、火災を起こ

さないよう日常生活で防火を
実践していくことが大切です。

暖房器具

これから寒い時期を迎え、ストーブなどの暖房器具を使用する機会が多くなります。

今年は、ストーブが原因になつた火災が、全国で1,905件も発生しています。ストーブを安全に使用するために、次の点に注意しましょう。

チェック1

ストーブの周りには、燃えやすいものを置かない。(ストーブの上に洗濯物

を干さない。)

チェック2

石油ストーブに燃料を補給するときは、ストーブの火を必ず消す。

チェック3

燃料のカートリッジをストーブに戻すときは、キャップがしっかりと閉まつていることを必ず確認する。

コンロ

揚げ物などをしていて、天ぷら油から火が出て火災になる事例が、相変わらず発生しています。天ぷら油は、温度が360前後になると、油自体が発火して燃え上がります。時間にする、火にかけてから約20分、30分で着火します(下のグラフ参照)。揚げ物などの調理中に火災を起こさないよう、次の点に注意してください。

チェック1

天ぷら鍋を火にかけたときは、その場を離れない。

チェック2

コンロのそばを離れるときは、必ず火を消す。

チェック3

天ぷら油過熱防止センサーなどの安全装置付きの調理器具をできるだけ使用

す。
消火剤の詰め替えもできま
す。
取り扱いに注意!

半年に1回は点検を

消火器は、火災の初期の消火にたいへん有効な機器です。いざというときに100%の効果を発揮させるには、定期的な点検が大切です。半年に1度は、次の点検をしましょう。

チェック1

安全栓が確実に装着されているかどうか。

チェック2

容器やキャップに、変形や錆、腐食はないかどうか。

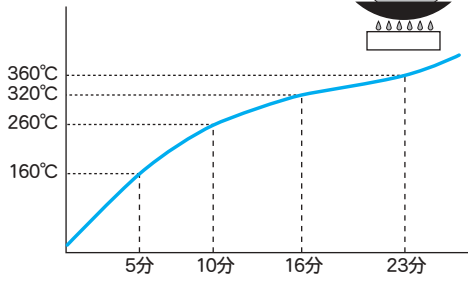
チェック3

ホースが詰まっていたり、ひび割れていないかどうか。

点検は、専門業者に依頼するとなお安心です。必要なら、



加熱時間と天ぷら油の温度



消火剤の詰め替えもできま
す。

不用になった消火器は

消火器は、火災の火元めがけて、非常に高い圧力で消火薬剤を噴出するように作られています。そのため、本体が変形していたり、錆や腐食、キズなどがあると、その部分が圧力に耐えられず破裂する危険があります。不用になった消火器は、事故防止のために、必ずお買い求めになつた販売店か専門業者に引き渡してください。(300~500円の分解・廃棄処理費用が必要です。)

放火されにくい環境づくりを!

全国の総火災件数に占める放火火災の割合は、年々増加する傾向にあります。日ごろから身の回りで放火が発生することを考え、放火されないよう対策を立てましょう。

- 放火されない
- 放火させない
- 放火されても被害を大きくさせない

ことを基本に、地域ぐるみで「安全で住みよいまちづくり」を実施しましょう。

問い合わせ先 消防本部予防課

☎03332番

消す心
置いてください
火のそばに
【全国統一標語】
秋季全国火災予防運動
11月9日(土)~15日(金)

主な行事
街頭広報
日時 11月9日(土) 10:30~
場所 ピバシティ彦根
火災防御訓練
日時 11月10日(日) 7:00~9:00
場所 第1訓練 光淵寺(須越町)
第2訓練 誓念寺(金剛寺町)
第3訓練 お浜御殿(松原町)